



宮城県美ネット 井戸端会議 vol.3

2025年 11月 29日（土）
14：30－16：30

会 場 | 東京エレクトロンホール宮城
（宮城県民会館）601 会議室

参加費 | 無料（お申し込み不要）

定 員 | 100 名

PART-1 講演

「人口減時代の美術館 東北の現場から」
取材ノートより

講師 会田正宣さん 河北新報社文化部記者

PART-2 トークセッション

「宮城県美術館に期待すること」

パネラー 会田正宣さん
吉川由美さん
文化事業ディレクター・演出家

司会 柴田治
宮城県美ネット事務局・画家

主催 | 宮城県美術館の百年存続を願う市民ネットワーク
（宮城県美ネット）
お問い合わせ | miyagikenbi.net@gmail.com

ひびきあう
アートプレイスをめざして
―宮城県美術館のリニューアルオープンを前に―

“私たちの美術館”にするために、
みんなで集い考えよう

市民の声が自治体を動かした
5年前の宮城県美術館の現地存
続運動。県美はいよいよ来年夏
にリニューアルオープンします
が、“私たちの美術館”とよべる
ものにするためには何が必要なの
でしょうか。

昨年末から今年初めにかけて
河北新報に連載された「人口減
時代の美術館 東北の現場から」
は、地域の高齢化や財源不足に
悩む美術館をレポートしつつ、
市民と手を結ぶことで広がる可
能性を描くものでした。宮城県
美ネットの「井戸端会議 vol.3」
では、記事の連載を担当された
文化部の会田正宣さんを講師に
お迎えし、東北における美術館
の実情をお教えいただきます。

また、後半は八戸市美術館の
ディレクターをつとめられた吉
川由美さんにも加わっていただ
き、オープン後の美術館や市民
の役割についてお話を進めてい
きます。今後の期待も含め、み
なさんで意見交換をしませんか。

パネラー

会田正宣（あいだ・まさのぶ）

1972年生まれ、横浜市出身。慶応義塾大学総合政策学部卒。
1994年河北新報社入社。報道部、福島総局、岩沼支局、白河支局、
角田支局を歴任。2019年度から文化部所属。
著書に『阿武隈川物語』（河北新報出版センター）

吉川由美（よしかわ・ゆみ）

文化芸術を核に、コミュニティ、地域資源、観光、教育などをつなぎ、
地域に活力と新たな価値を創り出す活動を進めている。
青森県八戸市の八戸ポータルミュージアム はっち、八戸市美術館や
仙台市、鳴子温泉郷、南三陸町などで、地域資源をテーマに数々の
アートプロジェクトをディレクションした。

司会

柴田治（しばた・おさむ）

水彩画家。建築設計事務所、地域計画コンサルタント事務所勤務の
のち「アトリエ光彩舎」を設立。自身のアトリエのほか、市内のさ
まざまな教室で指導にあたっている。宮城県芸術協会会員、日本水
彩画会会員、白日会会員。個展の開催多数。ファンも多い。

宮城県美ネット

2020年、宮城県美術館の現地存続のために結成した市民グループ。
結成後わずか4ヶ月間に2000名の会員を擁し、県内での幅広い活動で現地存続を実現した。2021年には活
動の詳細な記録集『みんなでもった美術館』を出版。目標達成後も活動を続け、「みんなで祝おう！宮城県
美術館40歳のハッピーバースディ展」をはじめ、県美の今後のあり方を市民が集い考える「井戸端会議」、そ
の魅力や周辺環境を専門家とともに歩いて考える「WALK & ACADEMY」などを開催してきた。

宮城県美術館の百年存続を願う市民ネットワーク（宮城県美ネット）

連絡先 | 〒982-0801 仙台市太白区八木山本町1-38-3 / メールアドレス | miyagikenbi.net@gmail.com

WEBサイト | <https://www.save-mmooa.org/>

宮城県美ネットは会員を募集しています。
会費は必要ありません。お名前とメールアドレスを事務局までお知らせください。
主催事業などをお知らせします。

